

# 小学六年

# 適性検査 D

# 解答と解説

1

問一  
インド

問二  
【例】 1865年は綿製品を輸入していたが、1913年にかけて原料である綿花を輸入するようになってきていることから、国内で加工が行われるようになったと考えられる。

問三  
【例】 バングラデシユは輸出品の約8割が衣服なので、衣服が売れなくなると国の経済が悪くなってしまうおそれがある。

問四  
リサイクル  
ウ  
リユース  
ア  
リペア  
イ  
問五  
ウ

2

問一  
イ・オ

問六							
フ	こ	働	フ	メ	や	し	フ
エ	と	者	エ	デ	し	て	エ
ア	に	の	ア	イ	、	感	ア
ト	よ	賃	ト	ア	フ	じ	ト
レ	り	金	レ	や	エ	ら	レ
ー	、	を	ー	学	ア	れ	ー
ド	厳	上	ド	校	ト	る	ド
は	し	げ	は	の	レ	よ	は
、	い	る	、	授	ー	う	、
適	労	こ	適	業	ド	に	適
正	働	と	正	で	を	す	正
な	環	を	な	取	も	る	な
価	境	目	価	り	っ	必	価
格	に	的	格	上	と	要	格
で	あ	と	で	げ	身	が	で
取	る	し	取	る	近	あ	取
引	海	て	引	回	な	る	引
を	外	い	を	数	存	と	を
す	の	る	す	を	在	思	す
る	。 労	。 労	る	増	と	う	る

【例】  
現  
代  
の  
生  
活  
は  
モ  
ノ  
が  
豊  
富  
に  
な  
っ  
た  
一  
方  
で  
語

20 20 150 120 100 20

問三

	で	使	ま	で	る	も	一		言	る		取	の	る	同	彙	
	き	っ	で	き	が	程	ヤ	よ	業	の	私	り	に	。	時	が	
	る	て	の	な	、	度	バ	く	を	で	は	も	す	だ	に	乏	
	よ	そ	生	い	そ	が	い	取	知	は	、	ど	る	か	心	し	
	う	の	活	。	の	大	一	り	っ	な	な	す	た	ら	を	く	
	に	時	を	私	分	き	が	上	て	く	ん	べ	め	、	使	な	
	気	々	通	は	細	け	あ	げ	、	、	で	き	に	日	い	っ	
	を	の	じ	こ	か	れ	る	ら	細	で	も	だ	心	常	捨	て	
	つ	自	て	の	い	ば	。	れ	か	き	ワ	と	の	の	て	お	
350	け	分	学	よ	気	一	良	る	く	る	ン	筆	風	生	る	り	
	た	の	ん	う	持	ヤ	い	ワ	使	だ	パ	者	景	活	よ	、	
	い	気	だ	な	ち	バ	場	ン	い	け	タ	は	を	を	う	言	
	と	持	た	言	を	い	合	パ	分	そ	一	述	表	生	な	業	
	思	ち	く	葉	表	一	で	タ	け	の	ン	べ	現	き	状	を	
	う	を	さ	よ	現	で	も	一	た	場	な	て	で	生	態	使	
	。	細	ん	り	す	す	悪	ン	い	面	表	い	き	き	に	い	
		か	の	も	る	ま	い	な	。	に	現	る	る	と	な	捨	
		く	言	、	こ	せ	場	言		合	に	。	言	し	っ	て	
		表	葉	こ	と	ら	合	葉		っ	た		葉	た	て	る	
		現	を	れ	が	れ	で	に		た	よ		を	も	い	と	
			300					200					100				

(配点)  
 ① 問一、問五……各3点 問二、問三、問四……各6点 問六……16点  
 ② 問一……4点 問二……6点 問三……50点  
 ※ ①問四、②問一は完答。  
 計100点

【解説】

1 服をテーマにした問題

問一 B1 情報を獲得する 知識 再現

【資料3】を参考にしながら、綿の生産量世界一位の国を考  
える問題です。

綿の生産は中国、アメリカ合衆国などでもさかんに行われて  
いますが、最も生産量が多いのはインドです。日本はインドや  
中国からの輸入に大きく頼っています。インドはアジア州に属  
し、三大洋のうち、インド洋に面しています。2023年には、  
中国にかわって人口が世界で最も多い国となりました。

問二 B1 情報を獲得する 比較 関係づけ

【資料4】をもとに、1800年代後半から1900年代前  
半にかけての日本の綿の輸入の変化について考える問題です。

【資料4】より、1865年には綿織物の輸入が約3割でし  
たが、1899年には綿織物の割合が大幅に減少し、綿花の輸  
入が増えていて、1913年には綿花の輸入のみで、綿織物の  
輸入は行っていないことがわかります。綿織物は綿花からとつ  
た綿糸によってつくられた加工品であり、綿花はその原料なの  
で、日本は1865年の段階では加工品のみを輸入してしまし  
たが、1913年には原料のみを輸入するようになったことが  
わかります。また、【資料5】から、**渋沢栄一**や**豊田佐吉**の活  
躍で、綿糸の生産やその綿糸を用いた綿織物の生産がさかんに  
なり、工業化が進んだことが読み取れます。このことは、日本  
の工業が発展し、原料を輸入して自国で加工・生産ができるよ  
うになったことを示していると考えられます。

問三 B1 情報を獲得する 理由 推論

【資料7】をもとに、海外生産をしている会社の製品を買わ  
なくなるることによって生じる問題について考える問題です。

【資料7】から、**バングラデシュ**は輸出の大部分が衣類であ  
ることがわかります。**バングラデシュ**で生産された衣類が売れ  
なくなると、**バングラデシュ**からの輸出が少なくなる可能性が  
あり、輸出の大部分が衣類である**バングラデシュ**からすると、  
衣類の輸出が減ることは国の経済に大きく影響するおそれがあ  
ります。そうになると、労働者に対しても賃金が支払われなくな  
ることも考えられるので、「労働者のため」と不買運動を行う  
ことは、根本的な問題解決にはつながりません。

問四 A2 知識 再現 関係づけ

A1ウの行動が、それぞれ「リサイクル」「リユース」「リペ  
ア」のどれにあてはまるのかを考える問題です。

Aは小さくなつて着なくなった洋服を、洋服として他の人が  
着続けられるような行動を示しています。そのため、「くり返  
し何度も使う」という考え方から「リユース」にあてはまりま  
す。

Iは穴があいた洋服を修理して着続けています。洋服を修理  
して使うという考え方から「リペア」にあてはまります。

ウのように洋服をゴミとして捨てるのではなく、自治体にか  
わしてもらうことで、資源として再利用することができます。  
そのため、「リサイクル」にあてはまります。

問五 A2 情報を獲得する 比較 推論

【資料8】、【資料9】を見て、フェアトレードのしくみを考

える問題です。

【資料8】から、フェアトレードが発展途上国の生産者と適正な価格で取引するしくみだということがわかります。これは、生産者が損をすることなく、適正な対価として収入を得られるようにするためのしくみであることから、【資料9】の（A）には「生産者がお金を得る」があてはまりません。また、生産者が収入を得られるようになると安定した生産ができるようになり、生産環境を整備することに時間やお金を使うことができるようになるため、（B）には「生産環境が整備される」があてはまりません。残る（C）には、生産環境の整備により「より良い製品の提供」があてはまりません。

問六

C1 理由 具体・抽象 推論

【資料10】を参考にして、洋服のフェアトレードの目的とその普及の方法について考える問題です。

【資料10】から、フェアトレードには3つの基準があることがわかります。そのうち経済的基準については長期的な取り引きや最低価格の保証により発展途上国が経済的に自立できるようにする点などが、社会的基準については安全な労働環境を確保し、児童労働や強制労働の禁止により労働環境を改善する点などが、環境的基準については農薬の使用制限や適正使用、有機栽培の奨励により発展途上国の環境悪化を防ぐ点などがフェアトレードの目的として考えられます。また、普及の方法については、会話文からフェアトレードの認知度が低いことや価格が高いことが課題として挙げられるので、それらの課題を解決する方法を提示する必要があります。

この問題では、①フェアトレードの目的が書かれているかど

うか、②フェアトレードを普及させるための方法が書かれているかどうか、③①・②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

② ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

問一 B1 情報を獲得する 比較 関係づけ

ア 第一段落に「私たちの日々をとりまく環境は、どんどん変わってきました」とあり、第二段落に「けれども、そう言えるのは、目に見えるものについてです」と続いています。したがって、日々をとりまく環境は目に見えるということになりますから、正しくありません。

イ 第三段落に「言葉ほど、目に見えないものの変化を反映しているものはないのです」という意見が述べられています。したがって、正しいです。

ウ 第七段落に「いまは普段に見るものでなくなつて、その言葉が表していた趣」と指摘されています。言葉が表す趣が語彙から消えるのは、その言葉によって表されるものが日常生活から消えた後のことです。したがって、順序が逆になつており、正しくありません。

エ (中略) 後三つ目の段落の一文目に「モノは豊富になつたけれども、逆に語彙が乏しくなつた」と書かれています。モノの豊富さと語彙の量は連動していません。したがって、正しくありません。

オ 最後の段落に「いまは、言葉のあり方というのが、あらためてそれぞれの日常に、切実に問われている」と書かれています。ここで指摘されている「言葉のあり方」とは、同じ段落にある「心という財布に、自分が使える言葉をどれだけゆたかにもっているか」ということと関係しています。したがって、正しいです。

問二 B1 情報を獲得する 置き換え 関係づけ

最後から二つ目の段落に、筆者が言葉と心の関係について現代の生活で問題だと考えていることが説明されています。「語彙が乏しくなつて」日々のあり方が狭く窮屈になつた」という要素を字数や [ ] の前後の言葉のつながりに合わせてまとめましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 語彙が乏しくなつたことが生活にマイナスの影響をあたえたことが書かれているか
- ② 表現や表記に誤りがないか

問三 C2 理由 置き換え 推論

文章中で説明されているような「言葉のゆたかさ」と心の関係について、あなたの意見を述べる問題です。

第一段落では、「言葉のゆたかさ」と心の関係」とはどのようなもので、それをするにはどのようなことが必要か、筆者の考えをまとめます。

第二段落では、あなたの考えをまとめます。第一段落でまとめた筆者の考えをふまえて、それに対する意見やあなたがしようと思うことをわかりやすく書きましょう。

第三段落では、第二段落で述べたことについての理由を書きます。

第二段落で述べたことをふまえて、自分がどういう点に注意して「言葉のゆたかさ」と心の関係」を実際の生活に取り入れたかをわかりやすく伝えましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

第一段落について

① 「言葉のゆたかさ」と心の関係」について本文で示された内容がまとめられているか

② ①の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

第二段落について

③ 「言葉のゆたかさ」と心の関係」について、自分の意見や具体的に取りたいと思う行動が書かれているか

④ ③の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

第三段落について

⑤ 第二段落で述べたことについての理由が書かれているか

⑥ ⑤の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

全体について

⑦ 段落が問題の指示に従って分けられているか

⑧ 答案用紙の使い方が正しいか

⑨ 誤字・脱字・送り仮名、仮名遣いの誤りがないか

⑩ 字数制限が守られているか